

# 五常

編集発行  
コミュニティ  
協議会  
広報委員会

人 口  
7,184人  
世 帯 数  
2,779世帯  
平成22年3月現在

## 平成22年1月10日とんど祭りを行いました

20回目という記念すべき「とんど祭り」が平成22年 月10日(日)五常小学校運動場において開催されました。数日來の大陸からの寒気団の影響を受けて非常に寒くなるのではないかと心配しましたが薄日が射す天気のもとで行われ、盛會裡に終了することができました。 激しく燃えるやぐら



さて、当日は最初にアトラクションとして五常小学校和太鼓クラブによる「五常太鼓」の演奏が、寒い中にもかかわらず裸足で行われ、大いに会場を盛り上げてくれました。

開会式では、野々村会長の主催者挨拶に続いて野村市会議員・倉橋校長から祝辞をいただきました。

点火する前は恒例となっているペトポトルロケットの打ち上げが、参加者全員によるカウントダウンのもと空高く打ち上げられました。昨年までは3機一斉に打ち上げていましたが、今年は記念大会を盛り上げようと、一機づつカウントダウンしながら打ち上げるように変更しました。

さて、点火は事前の放送により集まっていた年男、年女の9名に行っていました。今年は記念大会ということでやぐらに架けた「わら」

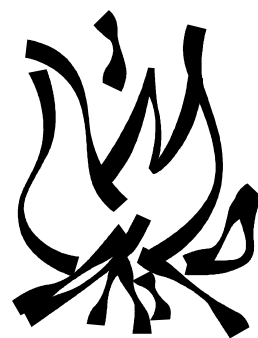
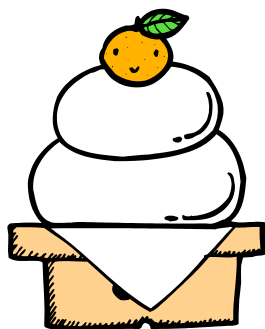


オープニングの様子





を1.5倍に増やしましたので、火は昨年以上に力強く、大きく燃え盛りました。点火後、参加者全員への振る舞いが始まりました。今年も豚汁、焼き芋、赤飯、お神酒でした。あわせてもう一つのアトラクションとして、「縄飛び」も行われ、多くの参加者が楽しんでいました。最後になりましたが、今回の祭りを実施するに当たっては校区内自治組織(管理組合)や各種の委員会、PTAなどから多数のお手伝いや御協力をいただきました。ここに深くお礼申し上げます。



五常校区での初めての文化祭が11月15日(日)に五常小学校体育館で3会場に分かれ盛大に開催されました。インフルエンザ問題がありました。が、熱演が続いた舞台発表、竹内枚方市長をはじめ野村議員や多くの住民のご出席もいただき大いに盛り上がりました。五常校区コミュニティ協議会では、地域づくり活動として、「五常の四季を楽しみ、安心安全なまちづくり」をかげ、五常住民皆さんの地域に対する



**第一回の五常文化祭開催**

愛着・誇りを育み、一体感を高めることを目標に、「夏祭り」「文化祭」「とんど祭り」「煙突山の桜ツアー」の四季を楽しむ行事を進めており、今回の文化祭は、2年に一度の行事として始めて実施されました。

会場の様子



第一会場の展示作品では、絵画の部(水彩画、油彩画、つまみ絵)、写真・俳句の部写真、五常校区開発当時の写真、俳句、手芸台座等の部造花、グラフィック、粘土作品、桐塗、手編



作品 押し花、イラスト、カントリー  
ドール、聖徳園グループホーム敬愛の  
皆さんの作品の文化・芸術性あふれる  
22名の作品が展示されました。

第二会場の舞台発表では、第四中学  
吹奏楽部の演奏で始まり、少林寺拳法  
演武、第四中学PTAコーラス、ヤマ  
八大正琴さつきグループ演奏、和太鼓  
演奏、五常小PTAコーラス、プチフ  
ルールコーラス、香雷丘ママさんコー  
ルの秋の歌みんなで歌いましょう、と  
9団体による楽しくも熱気あふれる素  
晴らしい舞台発表が行われました。



お茶会での竹内市長



第二会場では、体育館2階で紅葉も見  
れる良い雰囲気のもとお抹茶のご接待  
が行われ、秋のひと時を楽しんでい  
たきました。

初めての文化祭に、多大のご尽力を  
頂いた実行委員の皆さんに厚く御礼申  
上げますと共に、ご支援いただいた  
各自治会、ご出席頂いた皆さんに深く  
感謝申し上げます。

実行委員長 奥長滋嘉

# 防災フェスティバル



平成22年2月28日(曜日)五常小学  
校運動場において、五常校区自主防災  
会主催による防災訓練を行いました。

上記写真は避難訓練で各地区から五常  
小学校に集合した様子です。当日この  
訓練には集合人員及び参加役員含め概  
ね300名の参加となりました。

避難誘導訓練の後、開会式で、各代  
表から避難誘導人員の報告を行い、  
野々村会長、来賓の挨拶、訓練要領説  
明が行われました。続いて、デモンス  
トレーションとして枚方市消防団によ  
る放水披露(写真)が行われました。







引き続き、実技訓練を行いました。1つは上右写真のとおり初期消火訓練としてバケツリレー、もう1つは上左写真のとおり防災倉庫備蓄機材を利用して救助訓練を体験していただきました。最後に女性消防団によるAED(自動体外式除細動器)の説明(左写真)が行われました。

閉会式として、消防団による講評が行われ、アルファ化米をいただき散会となりました。



**「薬物」から子供たちを守りましょう**

薬物使用の低年齢化が社会問題となっており、四中だより第10号より一部抜粋させていただきました。是非ご一読いただき、地域で子供たちを薬物から守っていきましょう。

抜粋 1月初め関西で、大麻を所持していたとして中学生5名が逮捕され、1名が補導されるという事案があり、大

きな社会問題となっています。薬物乱用の低年齢化と薬物の蔓延、また、子供たちの生活や行動が大人から見えにくくなっていることに、危機感を抱いています。是非、今一度ご家庭におきまして、薬物の恐ろしさについてお話しいただければと思います。

・1回の使用も、「乱用」になり、「犯罪」である。

・薬物の使用によって幻覚、錯乱状態や急死などを引き起こす。

・依存症状が現れ、中断すると苦痛を感じるようになる。

・自分の人生だけでなく、家族や友人などにも悪影響を与える。

薬物を自分から守るには危険な場所・場面に近づかない。

先輩や友達にすすめられても、はっきりと「NO」と言う。

少しでも危ないと思ったら、「きっぱり断る」「逃げる」「勇気を持つ」。

自分の心身の健康や自分の一生を最優先に、大切にする。

